

# いごいのみぎわ

## 天路歷程 ジョン・パニヤン

### 第10話

2022年1月23日～1月29日 各家庭でのディボーション用テキスト

それから私は夢で見ていると、解説者は基督者の手をとって、壁と向い合せに火が燃えている場所に連れて行ったが、そこでは一人の人が側に立って、火を消すために絶えず多くの水をそれにかけていた。しかし火はますます高く熱く燃え上がっていた。

その時基督者は言った、これはどういう意味ですか。

解説者は答えた、この火は胸の中に行なわれる恵みの業です。それを消し止めようとして水をかける者は悪魔です。しかし、それにもかかわらず火はますます高く熱く燃え上がるのを君は見たのだから、その理由もお見せいたしましょう。

こうして彼を壁のうしろ側にまわらせた。そこには油の入った器を手を持った人が見えたが、彼もまた絶えず、またひそかにそれを火に注いでいた。

このとき基督者は言った、これはどういう意味ですか。

解説者は答えた、これはキリストです。恵みの油で、すでに胸の中に始められた業を絶えず続けておられるのです。これによって人の魂は絶えず恵みを受けています。【Ⅱコリ 12：9】悪魔がどんなことをなし得るにしてもです。また君はその方が壁のうしろに立って火を絶やさぬようにしておられるのを見ましたが、それは誘惑された者がその魂の中にこの恵みのわざがいかにつけられるかを見ることはむずかしいということを君に教えるためです。

私はまた見ると、解説者が再び彼の手をとって、気持のよい場所につれて行ったが、そこには見るもうるわしい荘厳な宮殿が建てられてあった。それを見て基督者は大いに喜んだ。またその頂には黄金づくめの装いをした人々の歩いているのが見えた。

このとき基督者は言った、私たちはそこへ行けましょうか。

すると解説者は彼を連れて宮殿の戸口の方へ行った。ところが見よ、戸口には大勢の人々が立っていて、入りたがっているが、敢えて入ろうとしないのだった。戸口から少し離れた所に一人の人がテーブルの側に腰かけて、帳面とインキを前にし、そこから入るべき者の名を書きとめようとしていた。また戸口にはそれを守るために武装した多くの人々が立っていて、入ろうとする者にはできる限りの危害を加えようと待ちかまえているのを見た。このときは基督者も少々とまどった。ついにすべての人が武装した人々を恐れてひるんだ時、基督者が見たのは、一人の非常に大胆な面構えの男が坐って記録している人の所へやって来て、わしの名を書きとめて下さいと言うのであった。そのとおりすると、この男は剣を抜き放ち、頭にかぶとをかむり、戸口に向かって、武装した人々をめがけて突進すると、彼らは恐ろしい力で彼にはげしく打ってかかるのを見た。しかしその男は少しもひるまず、猛烈な勢いで切って切りまくり始めた。こうして多くの傷を受けたが、【使 14：22】彼

を入れまいとした人々にも多くの傷を負わせた後、血路を開いて宮殿の中に突入した。すると中にいる人々から楽しげな声が聞こえて来た。それはまさに宮殿の頂を歩いている人々の声で、こう言うのであった。

入り来たれ、入り来たれ。  
とわの栄えをなんじに与えよう。

彼は中に入って、人びとと同じ衣をまとった。そのとき基督者は微笑して言った、私には本当にこの意味が分かるように思います。

さて、と基督者は言った、もうお暇しましょう。いや、お待ちなさい、と解説者が言った、もう少し見せてあげよう。それから、出かけなさがよい。

こうして彼は再びその手を取って、非常に暗い部屋へつれて行った。そこには鉄の檻の中に一人の人が坐っていた。

さて、その男は見るからにいと悲しげであった。目は地面を見つめ、両手を組み合わせ、胸も破れるばかりにため息をついていた。そのとき基督者は言った、これはどういう意味ですか。そこで解説者は、その男と話をしようと言った。

そこで基督者はその人に言った、あなたはどのような方ですか。彼は言った、私は以前の私ではないのです。

**基督者** 以前はどんな身の上でしたが。

その男は言った、以前は自他ともに許すりっぱな、時めく信仰告白者でした。

**【ルカ 8：13】** かつては天の都へ行く見込みもあると考えていました。そのころはそこへ行けると思って喜んだものでした。

**基督者** なるほど、で、今はどうなのですか。

**男** 今は絶望の人で、この鉄の檻の中にいるように、絶望の中に閉じこめられているのです。出ることができません、ああ、今はだめです。

**基督者** だが、どうしてあなたはこんな身の上になったのですか。

**男** 目をさまして慎んでいることをやめたのです。私は心の手綱をゆるめて肉欲をほしいままにし、み言の光と神のいつくしみに対して罪を犯し、み霊を憂えさせてはそれに去られ、悪魔を試みては悪魔を招き、神を怒らせては神に捨てられたのです。

そのとき基督者は解説者に言った。しかしこのような人には見込みはないのでしょうか。解説者は言った、彼にお聞きなさい。

そこで基督者が言った、あなたは絶望の鉄檻に閉じこめられているよりほかに望みはないのですか。

**男** そうです、まったくありません。

【ジョン・バニヤン 天路歷程 正篇 より】

※この本は図書に置かれています。さらに読みたい方はどうぞご利用下さい。